



数時間後には千葉県が
暴風いきに入り——

暴風による飛来物や
大雨による浸水被害

がけくずれなどの
土砂災害に
注意してください

大型台風接近 注意!



ぼくたちも
もう避難した方が
いいかなあ……

難を避ける

避難は
「難」を「避」けること

危険を避けられるのなら
避難所以外の場所に
避難しても大丈夫だよ



浸水の状況によっては
自宅の2階に上がる
というのも避難なんだよ

安全な親せきや知り合いの
家に行くのもそうだよ



雨だけでなく
風も強くなりそうだね

とーとー

洪水注意報か…
うちの地いきは洪水や
浸水のおそれがあるから…



うーん
暗くなる前に避難所
行った方がよさそうだね

避難所は
小学校だね!

できるだけ安全な道順を
確にんしてから出発しよう



動きやすい服そうと
運動ぐつで行くよ



何が起るか
わからないから
注意して行こう

ビュッ...



うわっ！！



急に強い風がふくことが
あるから気をつけて

すべりやすいから
足元にも注意が
必要だね



あっ！
おとなりのおばあちゃん！

お荷物お持ちしますよ



ひなんじょ
避難所<小学校>

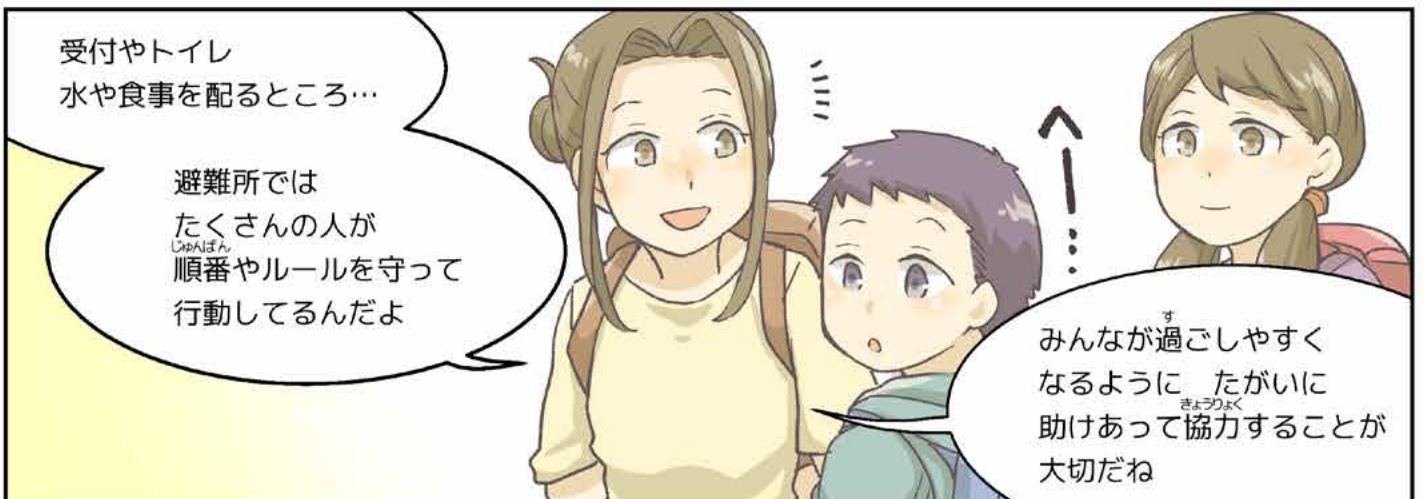


何とか
無事についたね

うけつけ
があるはずだから
行ってみよう



あっ
あそこが受付なんだね



受付やトイレ
水や食事を配るところ...

避難所では
たくさんの人が
順番やルールを守って
行動してるんだよ

みんなが過ごしやすいように
たがいに
助けあって協力することが
大切だね

4 - 1

年

組

名前



避難所での過ごし方について考えよう

1 台風が近づいたり、地震が起きたりしたとき、どこに避難したらよいか、考えよう。どうしてそう考えたか、その理由も書いてみよう。



避難所



親せきや知人の家



ホテルや旅館



自分の家

避難する場所：

考えた理由：

2 避難所は、ふだんとどうちがうか考えよう。



過ごす場所



トイレ



給水



助け合い

Blank area for writing about differences in the shelter.

3 避難所で気をつけることを考えよう。

Blank area for writing about things to be careful of in the shelter.

いろいろな人と
いっしょに
避難するから…



1

安全に避難しよう

知ろう！



避難とは

避難とは、「難」(危険な場所やあぶないもの)を「避」けて、安全な場所にいることです。災害はその種類ごとに安全な場所、身を守る行動がちがいます。災害を知り、地いきの特ちょうを知って、自分で考えて行動できるよう、備えましょう。

安全な場所を調べる

避難と聞くと「避難所に行かなくては」と考えてしまいがちですが、時間帯や経路などによっても、移動自体が危険になることもあります。避難する場所は、市町村などが指定する避難所、安全な親せきや知人の家、ホテルや旅館などの他、ハザードマップなどで安全が確にんできれば、家にとどまることも避難です。

浸水などで避難ができない場合は、2階など高い所に避難しましょう(垂直避難)。

避難時に注意すること

災害時の移動には、予測できない危険がともなうことが多くあります。事前に避難先やそこまでの経路で危険な場所がないかなど、しっかりと確にんしておきましょう。

避難するときは、できるだけ2人以上で行動し、水がたまっている所はできるだけ避けましょう。水の深さが50cm位の高さをこえると、大人でも歩くのがむずかしくなります。

避難時の持ち物

避難先に持っていく物はできるだけ少なくして、両手が使えるよう、リュックにまとめておくとよいです。眼鏡やふだん使っている薬などもわすれないようにしましょう。

避難時の服そう

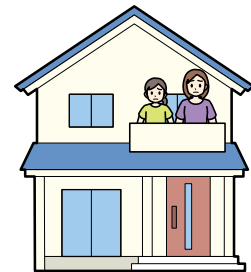
- かさはささず、動きやすい服そうで
- 長ぐつは水が入ると動きにくくなるため、「はきなれた運動ぐつ」で
- 足元を確にんするため、かさ(またはつえ)を活用
- 落ちて来る物や飛んで来る物に備えて、ヘルメットを着用

マイ・タイムラインを作って、どんな災害のときにどう行動するか、決めておこう。

→リンク p.15



ユウマ



垂直避難

垂直避難



子どもは水の深さが20cmをこえると歩けない



大人でも水の深さが50cmをこえると歩けない。

避難するときの水の深さ



避難時の服そう



2

避難所で注意すること

健康に注意しよう

避難所ではいろいろな人がいっしょに過ごすことになります。人が集まる場所では、インフルエンザなどの感染症や食中毒が起りやすくなっています。避難所で過ごす期間が長くなる場合には特に、うがい、手洗い、こまめな水分補給などを行い、体調の管理に気をつけましょう。



うがい



手洗い



水分補給

集団生活で気をつけること

避難所では、ふだんとはちがう環境でふだんいっしょに過ごしていない人と集団生活を送ることになります。避難所のルールを守って、たがいに助け合いましょう。



さわいだい、走り回ったりしない。



配りよが必要な人

避難所には、高れい者、しょう害のある人、にん婦、にゅうよう児、アレルギーなどがある人、日本語でコミュニケーションがとりにくい外国人など、多様で特別な配りよが必要となる人(要配りよ者)もいます。みんなが少しでも快適に過ごせるようにしましょう。



にん婦・にゅうよう児



高れい者、しょう害者



外国人

ペットはどうしたらよいの？

避難所では、ペットを指定された区いきで飼育する、ケージ(かご)に入れるなど、ルールが決めていることがあります。ペットを飼っている場合は、住んでいる地いきのルールを確にんしておきましょう。



車中はくるときに注意すること

近年、避難方法として、車の中でねとまりする(車中はくをする)人が増えてきています。やむを得ず、車中はくをする場合には、エコノミークラスしょう候群や一酸化炭素中毒などの危険もあるため、注意が必要です。





こうすい
洪水とかもなく
ぶじ
無事に帰って
来られてよかったね

ただいま〜



さいがい
災害への備えを前もって
ちゃんと考えていたのが
役に立ったよね!



そうだね
災害はいつ起こるかわからない

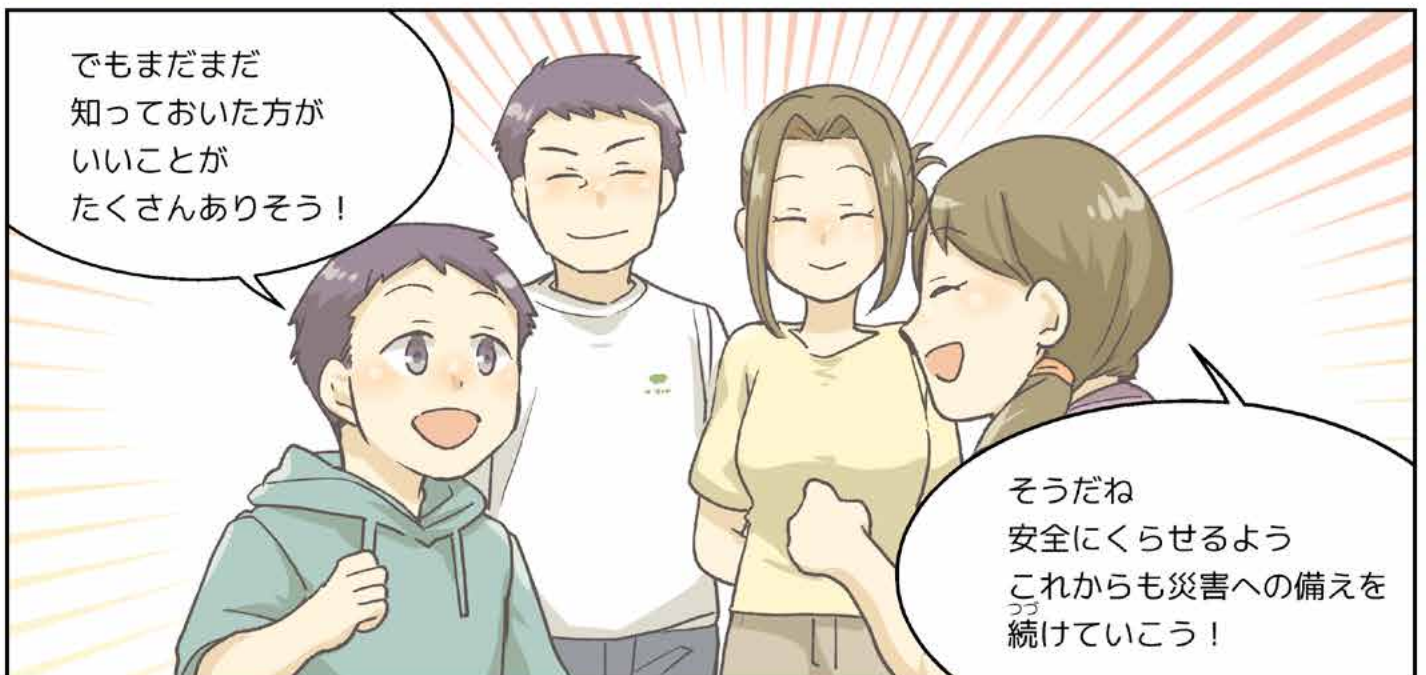
だから ぶだんから
災害への意識を持ち続ける
ことが大切なんだよ



れいせい
冷静で安全な
行動をとるためには

災害についての
正しい知識が必要なの

しっかり準備できていたから
あわてずに行動できたね



でもまだまだ
知っておいた方が
いいことが
たくさんありそう!

そうだね
安全にらせるよう
これからも災害への備えを
続けていこう!